

3. 整備エリア

皿倉山の想定される利用者のニーズに合わせて、それぞれの魅力となる眺望施設、自然と癒し、体験と学習、ケーブルカー山麓駅から八幡駅までのアクセス対策の4つのゾーンの設定を行います。



Google

山頂付近エリア (主に感動空間)

皿倉山の目玉である「世界文化遺産」と「新日本三大夜景」が眼下に広がる眺望を、新たな視点から見せることで、北九州ならではの絶景を再発見し来訪者の感動空間を創出するエリアです。



帆柱森林植物園・回遊エリア (主にやすらぎ空間)

皿倉山の緑豊かな自然を活かしたエリアで、帆柱森林植物園から皿倉山頂付近、権現山、ケーブルカー線路沿いを主に回遊性を高めた新たな魅力づくりを行っています。



皿倉平中央エリア (主にワクワク空間)

ビジターセンターと皿倉平を中心とし、皿倉山ならではの体験をすることで、来訪者の探究心や冒険心をくすぐるエリアです。



帆柱公園エリア

皿倉山の玄関口としてケーブルカー山麓駅前や周辺駐車場を利用しやすいよう整備する「おもてなし」のエリアです。



アクセス対策

JR 八幡駅周辺からケーブルカー山麓駅まで「行きやすい皿倉山」にするために、アクセスの対策を図るエリアです。

